

おなじやらのしたで

「おなじよらのしたで」をよんで
一関市立なかさとしようがっこう 一ねん

いとう みおん

わたしがえらんがほんは、「おなじよらの
したで」というほんです。たくさんのどうぶ
つのがかいてあるほんで、えらのくものところ
がくりぬいてあるほんでした。

「ぼくたちはみんなおなじよらのしたでい
きでいる」ということばではじまります。

ねこ、ライオン、パンギン、りす、しか、

うさぎ、イルカ、とり、くま、フウシソウ

おおかみ、みんなすんでいるところばらばら
らです。やねのうえ、そうげん、なんきよく
やまのうえ、もり、うみのなが、えらをとん
だり、かわのそばだったりします。

でも、すんでいるところはばらばらで

みんなおなじよらのしたでいきいます。わ

たしたちもおなじだなあとおもいました。そ

らはどこまでもつながっていて、ひとつだ

あとおもいました。

3
そして、ずんでいるところはちがうのに、
どんなどうぶつもおなじことをしているなあ
とおもいました。だれかとでもあったり、あそ
んだり、うたったり、あらしにみまわれたり、
そらを見あげたりします。わたしもことごと
おなじで、うたをうたったりすることがい
すきです。どうぶつもわたしとおにいちゃん
みたい、きょうだいげんがそするのかなと
おもうとおもいます。どんなどうぶつも
かぞくやともだちといっしょにいきているん

4
だなあとおもいました。ひとりはずみしいし、
つらいときもあるからです。
たくさんのどうぶつがあつまって、まある
いおつきさまをみていました。とよくはなれ
たばんぎよくのヤンギンさんとわたしがみて
いるおそらやおつささまがおなじだとおそ
う、なんだがふしぎです。ぜんぜんちがうど
うぶつがぜんぜんちがうはしよでいきている
のに、つながつているなんて、なんだがうれし
いきちになりました。